

令和5年度大阪府泉州医療・病床懇話会 議事概要

日時: 令和6年1月4日(木)午後2時から午後4時

開催場所: opsol 福祉総合センター 3階大会議室

出席委員: 13名 他、代理1名

笠原委員、鹿島委員、亀山委員、藤本委員、上野委員、松田委員、泉谷委員、武本委員、
矢田委員、市川委員、石本委員、泉本委員、辻内委員、高橋代理

出席関係者(圏域内病院関係者): 10名

大植氏、松下(庄)氏、山田氏、破戸氏、竹内氏、尾野氏、長谷川氏、横見瀬氏、松下(晴)氏、
馬場氏

■議題1 第8次大阪府医療計画の概要と基準病床数について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。

【資料 1-1】第8次大阪府医療計画(素案)概要

【資料 1-2】「新興感染症の発生・まん延時における通常医療の提供体制確保」(素案)概要

【資料 1-3】第8次医療計画における基準病床数設定と今後の対応について

【資料 1-4】第8次大阪府医療計画 策定スケジュール(令和5年度後半)

【基準病床数】

(意見等)

○コロナ禍での救急応需率に関するデータを用い資料を説明されたが、コロナ禍では、入院で対応できず宿泊療養等の入院外で対応することもあった。そのため、宿泊療養ではなく病床において対応できるよう、基準病床数の設定を考えて欲しい。

(大阪府の回答)

○病床が過剰と言われる地域においても救急医療の課題がみられる。救急医療の受け入れ機関の強化・後方支援の医療機関の確保に取組み、受入体制の強化を図っていきたい。

【在宅医療】

(意見等)

○高齢単身世帯が急増し、家族のフォローが難しくなる等、状況が変わってきている。その中で、無理に在宅医療を勧めるのは難しい世帯もある。そういった点も踏まえ内容を検討してもらいたい。

(大阪府の回答)

○医介連携の推進が必要と考えており、連携の拠点を各圏域に設定して、連携の拠点を中心に医療と介護を含めた連携を進めていきたい。

【医師確保】

(意見等)

○コロナ禍前に、夜間診療の当直医師の確保にあたっては、シーリングの状況を踏まえて考えるべきと意見を言わせていただいた。内科・麻酔科の若手医師数がシーリング制度により減少しているが、これら医師の確保については検討されているのか。

(大阪府の回答)

○医療計画の別冊として改定を予定している医師確保計画において、府の実態を踏まえた必要医師数を算出し、時間外労働規制の開始も踏まえて取組をまとめていく予定にしている。

■議題2 新興感染症の協定締結の状況について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室感染症対策企画課から説明。説明後、質疑応答。

【資料2】感染症法に基づく医療機関との協定締結について(泉州二次医療圏)
【資料2(別添)】感染症法に基づく医療機関との協定締結泉州二次医療圏医療機関(病院)
別協議状況 一覧

(質問)

○新興感染症の協定は、新型コロナウイルスを想定しているが、毒性等が異なる場合は新たな協定を締結することになるのか。

(大阪府の回答)

○資料2の 12 ページに記載のとおり、「最新の知見を踏まえ、国で事前の想定と大きく異なる事態であると判断された場合、府はその特性に合わせて、医療機関と協議の上、協定内容を見直す等の対応を行う」予定。協定書等を現在作成中であり、明記の上、協定の協議をさせていただく予定。

■議題3 第7次大阪府医療計画最終評価・第8次大阪府医療計画 圏域編(案)について

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明。説明後、質疑応答。

【資料 3-1】第7次大阪府医療計画 最終評価 泉州二次医療圏における医療体制
【資料 3-2】第8次大阪府医療計画 泉州二次医療圏における医療体制(素案)

【在宅医療】

(意見等)

○高齢単身世帯が急増し、家族のフォローが難しくなる等、状況が変わってきている。その中で、無理に在宅医療を勧めるのは難しい世帯もある。そういった点も踏まえ内容を検討してもらいたい。

(大阪府の回答)

○医介連携の推進が必要と考えており、連携の拠点を各圏域に設定して、連携の拠点を中心に医療と介護を含めた連携を進めていきたい。

【医師確保】

(意見等)

○コロナ禍前に、夜間診療の当直医師の確保にあたっては、シーリングの状況を踏まえて考えるべきと意見を言わせていただいた。内科・麻酔科の若手医師数がシーリング制度により減少しているが、これら医師の確保については検討されているのか。

(大阪府の回答)

○医療計画の別冊として改定を予定している医師確保計画において、府の実態を踏まえた必要医師数を算出し、時間外労働規制の開始も踏まえて取組をまとめていく予定にしている。

■議題4 令和5年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。

- 【資料4】令和5年度「地域医療構想」の進捗と医療体制の状況(大阪府・泉州二次医療圏)
- 【参考資料1】過剰な病床の状況
- 【参考資料2】医療法上の過剰な病床の状況
- 【参考資料3】地域医療構想に関する各種データHP公表について
- 【参考資料4】泉州二次医療圏における各医療機関の診療実態
- 【参考資料5】泉州二次医療圏における各医療機関の入退棟経路
- 【参考資料6】泉州二次医療圏における回復期病棟への転院・転棟等にかかる状況
- 【参考資料7】地域医療構想の推進にかかる支援策

(意見等)

○資料にある入院料実績の今後の需要見込みについては、コロナ禍である2020年を基準に試算している。コロナの影響で診療実績が落ちている状況と比較することは適切ではないのではないか。

(大阪府の回答)

○国立社会保障・人口問題研究所のデータを使用しているが、公表されていた推計人口が2020年度となっていた。あくまで推計となるので、状況をモニタリングし、保健医療協議会での意見も踏まえ医療体制にかかる取組を進めていきたい。

■議題5 令和5年度泉州二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明。説明後、質疑応答。

- 【資料5-1】令和5年度病院プラン結果概要(大阪府・泉州二次医療圏)
- 【資料5-2】令和5年度病院プラン(抜粋)医療機関別一覧(泉州二次医療圏)
- 【資料5-2(別添)】公立病院経営強化プランの策定について
- 【資料5-3】非稼働病床の現況について(泉州二次医療圏)
- 【資料5-4】令和5年度泉州病院連絡会結果(概要)
- 【参考資料8】病床機能の再編支援について(申請病院一覧)
- 【参考資料9】重点支援区域について

【各病院の対応方針(病院プランにおける2025年に検討している病床機能等)】

(1)公立・公的病院

(和泉市立総合医療センターへの意見)

○HCUを最大24床設置したいとのことだが、既存の病床数内での転換であり、増床するわけではないので、病院連絡会でも意見はなかったと思う。現在保有されている小児病床17床については、今後も確保いただきたい。

(和泉市立総合医療センターの回答)

○病床数は変更するかもしれないが、小児病床は今後も確保していきたい。

(2)その他、民間病院等

質問・意見は、特になし。

【保健医療協議会において対応方針について説明を依頼する病院（依頼する病院がないことについて）】

質問・意見は、特になし。

【重点支援区域の申請（申請しないことについて）】

質問・意見は、特になし。

【病床機能再編支援事業申請医療機関】

質問・意見は、特になし（申請医療機関なし）。

■議題6 地域医療への協力に関する意向書の提出状況

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明。説明後、質疑応答。

【資料 6-1】地域医療への協力に関する意向書提出状況（泉州二次医療圏 診療所新規開設者）

【資料 6-2】地域医療への協力に関する意向書提出状況（泉州二次医療圏 医療機器新規購入・更新者）

質問・意見は、特になし。